

令和6年度鳥飼西小学校経営における基本方針

校長 藤岡 敬治

1. 本校教育の目的

児童に「生きる力（確かな学力、豊かな心、たくましく生きるための健康・体力）」を育むことをめざす。

※参考（教育基本法第一条 教育の目的）

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われなければならない。

2. 本校教育の目標

深く考え、自ら判断し、伝え合う力を育む

お互いを尊重し、信頼や協力できる力を育む

基本的な生活習慣や社会生活上のきまりを身に付け、善悪を判断できる力を育む

3. めざす学校像

魅力ある学校

●児童…毎日通いたくなる学校

・安心安全が確保されている。授業が分かる、学校生活を楽しめる。

成長を実感できる（そのためには、全ての児童生徒が「安心」でき、多様な集団「所属」の中で活躍でき、努力や成長を「承認」されることで自己理解を深め、自分のよさや可能性を生かした「自立」に向けた取組を充実させることが大切）

●保護者…毎日通わせたい学校

・子どもたちに活躍の場がある。信頼され地域とともにある。

保護者・地域が気軽に足を運べる。

●教職員…安心して働ける学校

・子どもの成長を見て感じ取れる。教職員同士、信頼し支え合える。

管理職が職員一人ひとりを理解し後押ししてくれる。

4. めざす子ども像

進んで学ぶ子

違いを認め合い、自分も友だちも大切にできる子

みんなのことを考えて行動できる子

5. 取組みの柱

① 活用力（思考力、判断力、表現力）を高め、「自分の考えを『書き表す力』」を育む「授業づくり」の研究

② とともに高め合い、安心して活動できる「集団作り・絆づくり」の推進

③ 集団で、規律を守ることや協力の大切さを意識できる「活動づくり」の探究

6. 重点研究テーマ

「国語科を通して『読解力』を育む」

7. 具体的な取組み

○取組みの柱①に関連して

- ・国語科研究授業の実施（樋口先生を招いて、「読解力」の研究）
- ・復習タイムの充実（基礎的・基本的事項の定着）
- ・短時間朝学習の実施（読書・計算）
- ・授業における ICT 機器活用の推進
- ・第二中学校区小中一貫教育の充実（9年間を見通した学力向上、生徒指導）
- ・学習習慣の定着（自主学习ノート、宿題の iPad（ドリルパーク）の活用）
- ・取組みの発信（研究発表会等の開催※2月を予定）
- ・支援学級での☆本の研究・Ipad 使った自習体制の確立・通常学級・支援学級・通級指導教室とのネットワーク
- ・通級指導教室のロールモデル校及び授業モデルの確立

○取組みの柱②に関連して

- ・人権教育の推進（各学年で重点項目をしっかりと学習する）
- ・学級集団づくりの充実（機能的な集団づくりをめざしての実践交流・研修）
- ・人権意識・自尊感情の定着、向上（思いやりの育み）
- ・児童会の活性化（児童が中心となった自治的活動の推進）
- ・異学年交流（ペア学年での活動、クラブ・委員会活動など）
- ・支援を要する児童のサポート体制の充実（支援教育、生活指導、「西っこ委員会」）
- ・平和教育、多文化共生教育、「違いを認め合える教育」などの充実・推進
- ・命を守る教育の研究（防災・防犯を含めた安全教育の充実）

○取組みの柱③に関連して

- ・「Happy West 5」の周知・実践への意識化（基本的な生活習慣の定着）
- ・児童の実態把握（全児童の顔と名前を覚える・I チェックの活用）
- ・あいさつ運動の拡大
- ・啓発活動の充実（児童集会、玄関TVモニターの活用）
- ・開かれた学校づくりの推進（クラブ活動や体験学習における地域の教育力との協働、フリー参観の継続、関係機関との連携の推進、学校協議会の充実、ホームページでの積極的発信）
- ・学校内の環境整備（教室掲示物等の整理、時間を大切にする意識の定着）